

放射線利用研究会

平成18年4月、独法産技研になって初の研究会（放射線利用研究会）が設立され、活動を開始しましたのでこれまでの経過についてご紹介します。

放射線利用研究会の設立

放射線利用研究会は、主に駒沢支所（放射線利用施設）を利用して放射線遮へい材を扱っている企業、X線や中性子線源を利用した放射線測定器を製造・販売している企業そして放射線計測機器を開発・販売している企業8社で出発しました。これらの企業はこれまで個々に産技研と共同研究を行ったり、依頼試験や技術相談を行ったりしていました。会を設立したきっかけは、ある企業から中小企業としてこれからやっていくには1社だけでは限界があるので放射線関連の企業をまとめていただけないか、との要望があったからです。

これまでの活動

第1回目の発会式には、自己紹介の後、産学公連携室のコーディネータである枝村氏に「中小企業における失敗しない産学公連携」と題して産学公連携についてやさしく解説をして頂きました。

会は約1ヶ月半毎に開催し、7月までに規約を作成して代表を選出しました。規約の中で、会の目的を「会員相互の技術情報を交換するこ



図 発会式の模様

第1回目の会合では、産学公コーディネータの枝村一弥氏の講演会を行いました。

とにより、放射線利用技術及びその周辺技術に関する知識の向上を図ること」とし、会の目的を達成するための活動を以下の様に決めました。

1. 講師による講演及び周辺技術に関する勉強会
2. 話題の提供と意見交換及び問題解決
3. 会員相互の自由な討論
4. 異業種間の交流と商品開発への動機付け
5. その他本会の目的達成のために必要な活動

また、会費については当面徴収しないことに決めました。

その後、「技術情報発表」ということで各企業の持っている技術について順番に紹介して頂くとともに、各企業の抱えている問題点などについて披露して頂きました。また、駒沢支所の見学も2回にわたって行いました。その中で当所のトピックスである照射食品検知技術とイオン加速器による表面改質について研究員から説明を行いました。さらに、昨年9月に開催された西が丘本部の施設公開にあわせて定例会を開催し、西が丘本部の施設についても見学しました。

今後の活動

放射線利用研究会は2年目に入り、そろそろ自立する方向で議論が進んでいます。今までは外部の講師を招いた講演会を開催していませんでしたが、今後は積極的に行っていく予定です。また、茨城県のJ-PARKなど地方にある機関の見学も視野に入れており、より活発な活動が期待されます。

これまでは産技研を利用して企業の閉鎖的な会でしたが、今後はよりオープンな会を目指し、情報交換のみでなく新たな製品開発を目指していきたいと考えています。

研究開発部第二部 ライフサイエンスグループ
<駒沢支所>

鈴木隆司 TEL 03-3702-3126
E-mail : suzuki.takashi@iri-tokyo.jp